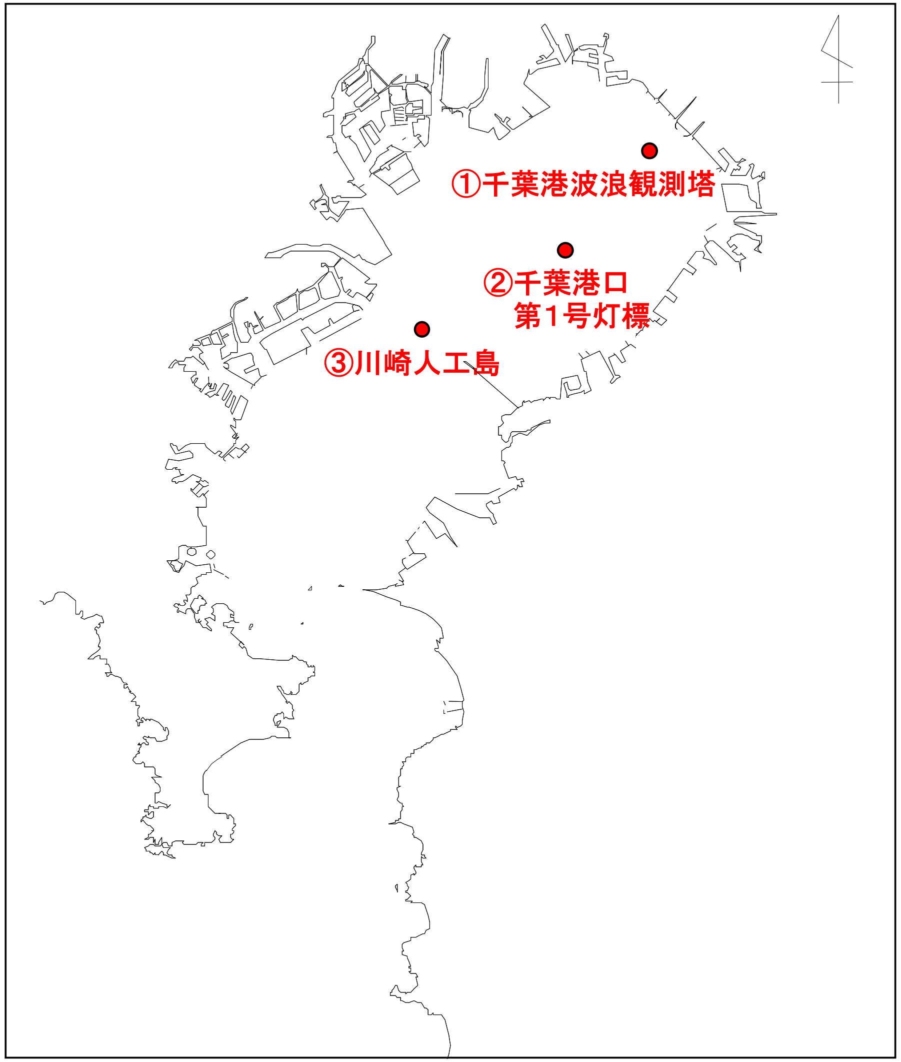
東京湾におけるモニタリングの充実

■　連続観測の実施

　東京湾全体のモニタリングを充実する取り組みの一つとして、国土交通省関東地方整備局では、東京湾内３ヶ所に連続モニタリングポストを設置し、水質等の連続観測を実施します。

■　観測場所及び観測内容



　千葉県所有の千葉港波浪観測塔、海上保安庁所有の千葉港口第一号灯標、東京湾横断道路換気塔（風の塔）の緩衝工を借用し、観測機器を取り付けます。

　観測場所や観測内容については、平成１９年度、２０年度の２年間にわたって専門家の方々で構成された「東京湾モニタリング研究会」で検討いただき、その結果を基にしました。

　東京湾モニタリング研究会　委員

安藤　晴夫	財団法人東京都環境整備公社　東京都環境科学研究所
石丸　　隆	東京海洋大学
磯部　雅彦	東京大学
大畑　　聡	千葉県水産総合研究センター　東京湾漁業研究所
木幡　邦男	独立行政法人国立環境研究所
中村　由行	独立行政法人港湾空港技術研究所
灘岡　和夫	東京工業大学
古川　恵太	国土交通省国土技術政策総合研究所
風呂田利夫	東邦大学
山田　佳昭	神奈川県水産技術センター

（敬称略・五十音順、所属は検討当時）

①千葉港波浪観測塔

○現地水深　－9m

○観測項目

水質：水温、塩分、濁度、クロロフィルa、溶存酸素

流況：流向、流速

気象：気温、風向、風速

○観測水深及び観測頻度

・1m間隔（自動昇降式）

・1時間に1回

自動昇降装置
設置箇所

②千葉港口第一号灯標

○現地水深　－19．6m

○観測項目

水質：水温、塩分、濁度、クロロフィルa、溶存酸素

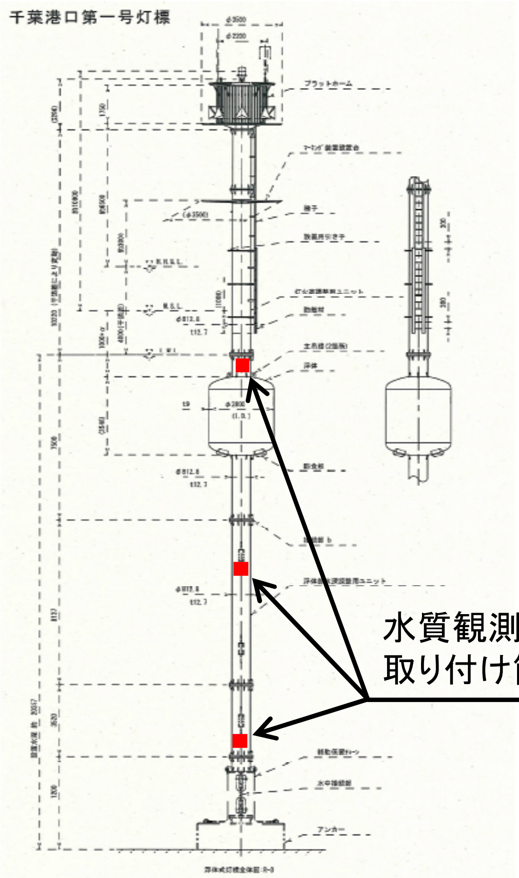
流況：流向、流速

気象：気温、風向、風速

○観測水深及び観測頻度

・固定層（－1m、－10m、－18．6m）

・1時間に1回



水質観測機器
取り付け箇所

③川崎人工島

○現地水深　－28m

○観測項目

水質：水温、塩分、濁度、クロロフィルa、溶存酸素

流況：流向、流速

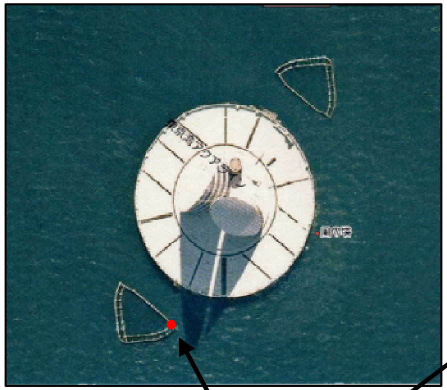
気象：気温、風向、風速

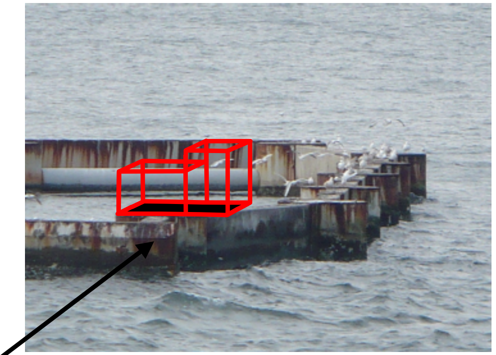
○観測水深及び観測頻度

・1m間隔（自動昇降式）

・1時間に1回

風の塔全景





緩衝工

自動昇降装置設置箇所

■　実施予定

　平成２１年度内に観測機器を取り付け、平成２２年度から観測を行う予定です。観測データは、数値シミュレーションによる環境再現や予測に活用するとともに、多くの方々に活用していただけるよう、平成２３年度より「東京湾環境情報センター」（http://www.tbeic.go.jp）で公開する予定です。